



# がん患者へのケア、リフレクション

研究開発センター・保健医療福祉学研究科

飯岡 由紀子 教授

【研究分野】 がん患者へのケア、がん看護、ウィメンズヘルスケア、リフレクション  
 【キーワード】 がん医療、がん看護、ウィメンズヘルスケア、リフレクション、調整力  
 【URL】 <https://www.iioka-yukiko.com/> 飯岡由紀子看護学研究室ホームページ



## 研究概要

- ①がんは2人に1人が罹る病であり「がんと共に生きる」ことがテーマとなっています。がんの治療は、多様に発展しており、治療と生活を両立することが大切になります。がん患者や家族が、より良い生活をおくれるようサポートするケアに関する研究に取り組んでいます。
- ②医療の現場は多忙を極めていますが、日々の看護には大切な実践的知識があります。経験を振り返るというリフレクションは、実践知の気づきを促し、自分の看護観を深め、今後の看護に役立つプロセスです。リフレクションを研修プログラムとして開発し、その効果を検証しています。
- ③医療は高度化、複雑が進み、チーム医療や多職種連携・協働が重要です。これら促進するには、専門職間をつなぐ調整力が非常に重要です。曖昧で流動的な活動である調整ですが、その能力向上を目指したプログラムを開発し、その効果を検証しています。

## 研究紹介



### ①【ホルモン治療を受けている乳がん患者が、治療と生活との両立を支援する研究】

乳がんのホルモン治療に生じやすい症状やストレス対処の状況を把握できるアプリを開発しました。利用された方からは、症状が緩和することや不安が和らぐことが検証されました。

### ②【看護師を対象としたリフレクションマッププログラム（RMP）】

リフレクションは、ファシリテーターの能力に依存しやすいのですが、このプログラムはリフレクションマップというツールを用いて、誰でも実施しやすく、集合研修も可能です。研究により、心理的ストレスが緩和したことと、レジリエンスが高まったことが立証されました。



### ③【看護師の調整力向上プログラム】

自己理解の促進、ファシリテーションスキル、交渉力トレーニングなどを含め、ワークをたくさん含めた体験型研修です。実践力向上を目指したプログラムになっています。プログラムの効果を検証する研究に取り組んでいます。

## 講座テーマ紹介

以下のようなテーマに関することで研修会や講習会の開催が可能です。

- ①・がん治療と生活の両立に関して（副作用対応、メンタルサポート、家族支援など）
  - ・療養生活の支援（終末期ケア、意思決定支援、症状緩和など）
- ②・リフレクションマッププログラム（RMP）
- ③・看護師の調整力向上プログラム

## アピールポイントなど

- ①治療に関する講演は多く行われていますが、どのように生活するのか、気持ちをどのように保つのかも含めて、共に考えていきたいと思います。
- ②リフレクションマッププログラムの内容や時間などは臨機応変に対応します。これまでに医療機関にてたくさんプログラムを実施してきました。
- ③看護師の調整力向上プログラムの内容や時間などは臨機応変に対応します。